

妙高西条農園 おたより

1.5ヶ月で25〜30cmに

No.134
6月号
2022.6.23



新潟の梅雨入りもほぼ例年通りでしたが、今年も降水量が少なく毎日30度を超えるような真夏日が続いています。

このようなことから、稲の生育も順調で1株当たりの本数も20本程に分けつし、稲丈も30cm程になりました。

稲以外の植物も生育し、圃場内で雑草の多く繁殖している箇所に、今年もエンジン付き除草機で、田ノ草取りを行いました。この機械ができる前は、圃場の全てを人力で行っていたわけですから、この暑い時期に行う作業は、大変な重労働でした。



中干しを開始した圃場



除草機による田ノ草取り作業

除草の終わった圃場から順次エンジン付き溝切り機で江立て（溝切り）を行い、中干しを開始しました。

この中干しの効果は過剰生育（無効分けつ）抑制、圃場への酸素供給、収穫時の圃場地耐力確保等稲作りの立場からは、どうしても欠かせない作業工程の一つですが、気になるのは一定期間圃場の水を抜いて乾燥することから水性動物の繁殖箇所を奪うことにもなり、

オタマジャクシ、メダカ、ドジョウ、タニシさんにごめんささいといいながら作業を行っています。



田面ライダーによる溝切り作業

一坪42株の順疎植うえ

新潟での一般の一坪当たりの田植え株数は50株植が標準ですが、当農園では5〜6年前から42株植の順疎植を行っています。本来の疎植うえは株間が（30cm×30cm）37株植えですが、当農園では、少し多めの順疎植うえ42株植を行っています。これにより一株当たりの分けつ本数が、一般の50株植より、約20%ほど多くなり大きな株になります。

カステラ風味の宇宙芋煎餅

四年ほど前から宇宙芋を栽培しています。今年も三棚ほど植付けツルも1mほどに伸びてきました。秋には写真ほどの芋がツルの先に実るのが楽しみです。昨年収穫した芋を煎餅に加工してみました。出来上がった煎餅は、芋にグルテンが多いことから、硬い煎餅にならず、しんなりした食感の「カステラ風味の煎餅になりました。試食してみてください。



宇宙芋とカステラ風味の煎餅



今年植付け直後の宇宙芋

今年も肝太くん家の黒ニンニクよろしくね

昨年は皆様からのご注文を多くいただき、後半には、品切れとなりご迷惑をおかけしたことから、今年も約倍の面積に作付けをして収穫期を迎えました。現在、生ニンニクの乾燥と試しの釜入れを行っています。乾燥が終われば、本格的な黒ニンニクの生産に入りますので、もうしばらくお待ちください。黒ニンニク発送は7月上旬からになります。

収穫直前のニンニク畑



発行者
〒944-0023

新潟県妙高市西条755
妙高西条農園池田博子
TEL 0255-72-3497
Fax 0255-72-2908